

（件名） 沿海地方経済関係者との意見交換及び天皇誕生日祝賀レセプションについて

（1）沿海地方経済関係者との意見交換について（所長 浦田 哲哉）

サハリン事務所は、サハリン州に限らず、沿海地方をはじめとするロシア大陸部との交流に関しても、道の総合窓口として活動していますが、2月2日（火）、ウラジオストクの若手実業家団体『ロシア・アジアビジネススクール「ロスト」』のシュカルパ代表と当事務所とをオンラインで繋ぎ、本道との経済交流について意見交換を行いました。

「ロスト」は、露日中韓の企業家同士の学びあいやマッチング、ロシア市場への関心喚起なども行っている営利団体で、代表のシュカルパ氏は、ロシアの中小企業団体である「ロシアの柱」沿海地方副支部長も務め、同地方の対外経済交流の旗振り役として活躍しています。

今回、「ロスト」側からは、これまで対面で実施してきた企業家向け国際セミナーのコロナ禍における継続、発展について意欲が示されたほか、道内企業の積極的な参画などについて提案があり、今後、「北海道・ロシア協力プラットフォーム」メンバーとの協働の取組なども視野に、本庁と連携して調整してまいります。

本来であれば、先方を訪問し、直接対面して聴取の上、相互理解を深めるべきですが、当面は、移動時等の感染リスクを避けつつ、こうした現地経済人へのヒアリングなどを継続的に行っている考えです。



（2）天皇誕生日祝賀レセプションでの北海道PRについて（主査 長谷川 さゆり）

2月3日、ユジノサハリンスク市内のホテルにおいて、在ユジノサハリンスク日本国総領事館主催の天皇誕生日祝賀レセプションが行われ、サハリン在住邦人をはじめ、州政府や州内の経済、文化、教育関係者など100人ほどが、昼夜2部に分かれて参加しました。

このレセプションでは、当事務所でも例年北海道観光のPRなどを行ってききましたが、今年はパンフレット等の配布は行わず、事務所公式 SNS でも公開しているサハリン出身のロシア人タレント・アリョーナさんがロシア語で紹介する北海道の動画等を、会場のスクリーンで紹介しました。

コロナ禍のため北海道とサハリンとは自由な往来が難しい状況にありますが、こうした様々な機会を通じて本道の魅力を発信しながら、ポストコロナを視野に、北海道とサハリン州の更なる関係発展につながるよう、取組を進めてまいります。

